

## 7 まとめ

第IV章 3以降で分析を行った内容について、“性別に対する意識”が自身の言動に影響を与えているか等について分析した結果は下記のとおり。

### 児童調査結果の仮説・検討事項に関する分析結果

No.	仮説・検討事項	分析結果
(1)	児童が「男の子/女の子だからと思う」ことは、児童自身の言動に影響を与えているか	「男の子/女の子なんだからと思うことがある」について《そう思う》と回答した児童ほど、「性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある」について《そう思う》と回答する傾向がみられた。また、統計的にも有意な差がみられた。  (参照：図表IV-3-1)
(2)	児童が「性別で教科の得意、不得意があると思う」ことは、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことに影響を与えているか	「性別で教科の得意、不得意があると思う」について《そう思う》と回答した児童のうち、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について《そう思う》の回答が6割を超え、統計的にも有意な差が見られた。  「性別で教科の得意、不得意があると思う」に《そう思う》と回答した児童ほど、仕事に対して性別により向き、不向きがあると回答する傾向がみられた。  (参照：図表IV-3-2)
(3)	児童の学年によって、性別に対する意識の差が表れているか	全設問で学年により回答割合に大きな差はなかった。ただし、5年生と比べ6年生の方が各設問に《そう思う》と回答する割合が高くなった。  (参照：図表IV-3-3～9)
(4)	「周囲の大人の発言」は、「男の子/女の子だからと思う」という児童の意識に影響を与えているか	「男の子/女の子なんだからと先生/親(保護者)/祖父母や親戚など周囲の大人に言われたことがある」について《あてはまる》と回答した児童のうち、「男の子/女の子なんだからと思うことがある」について、いずれの設問でも《そう思う》の回答が5割を超え、統計的にも有意な差が見られた。  「男の子/女の子なんだからと先生/親(保護者)/祖父母や親戚など周囲の大人に言われたことがある」に《そう思う》と回答した児童ほど、「男の子/女の子なんだから」と思う傾向がみられた。  (参照：図表IV-3-10～12)
(5)	保護者の働き方により、仕事に対する児童の「性別により向き・不向きがあると思う」という意識の差が見られるか	保護者の働き方(共働き、父親のみ、母親のみ、その他)の違いで、児童の仕事に対する意識に大きな差は見られなかった。  (参照：図表IV-3-13)

**保護者調査結果の仮説・検討事項に関する分析結果**

No.	仮説・検討事項	分析結果
(6)	保護者の年代によって、子どもの仕事に対する意識の差が見られるか	「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」に「そう思う」と回答した保護者について、男性、女性ともに、回答割合に大きな差は見られなかった。 (参照：図表IV-4-1)
(7)	保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもの進路選択に関する保護者の意識に影響を与えているか	「男性/女性だからと思うことがある」に「そう思う」と回答した保護者ほど、子どもの進路選択に関わる設問に対して、性別を意識する傾向が見られた。 (参照：図表IV-4-2～4)
(8)	保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもに関して「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思うことに影響を与えているか	「男性/女性だからと思うことがある」について「そう思う」と回答した保護者のうち、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について「そう思う」の回答が6割台半ばとなり、統計的にも有意な差が見られた。 「男性/女性だからと思うことがある」に「そう思う」と回答した保護者ほど、子どもの仕事に「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う傾向がみられた。 (参照：図表IV-4-5)
(9)	保護者が子どもの学習、進路などに関する事項（教科の得意/不得意、進路、習い事）で性別を意識することは、子どもに関して「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思うことに影響を与えているか	児童の学習、進路などに関する事項（教科の得意/不得意、進路、習い事）について「そう思う/あてはまる」と回答した保護者のうち、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、いずれの設問でも「そう思う」が約8割となり、統計的にも有意な差がみられた。 児童の学習、進路などに関して「向き・不向き/得意・不得意があると思う」に「そう思う/あてはまる」と回答した保護者ほど、「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う傾向がみられた。 (参照：図表IV-4-6～8)
(10)	「性別で子どもの習い事を選んでいる」ことは、「性別で子どもの進路を考えること」に影響を与えているか	「性別で子どもの習い事を選んでいる」について「あてはまる」と回答した保護者のうち、「性別で子どもの進路を考えることがある」について「そう思う」の回答が6割を超え、統計的にも有意な差がみられた。 「性別で子どもの習い事を選んでいる」に「そう思う」と回答した保護者ほど、「性別で子どもの進路を考える」傾向がみられた。 (参照：図表IV-4-9)

No.	仮説・検討事項	分析結果
(11)	保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもに対する言動に影響を与えているか	「男性/女性だからと思うことがある」について《そう思う》と回答した保護者ほど、「子どもに対する言動に関する設問」で《そう思う》と回答する傾向がみられた。また、統計的にも有意な差がみられた。 (参照：図表IV-4-10~13)
(12)	保護者自身が「男の子/女の子なんだからと子どもに言う」ことは、子どもに対する発言以外の意識や行動に表れるか	「男の子/女の子なんだからと子どもに言うことがある」に《あてはまる》と回答した保護者のうち、「服の色など男の子/女の子らしい色があると思う」「子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる」のいずれの設問でも《そう思う/あてはまる》が6割を超えており、統計的にも有意な差がみられた。 「男の子/女の子なんだからと子どもに言うことがある」に《あてはまる》と回答した保護者ほど、発言以外の部分（服の色選び、日用品やおもちゃ選び）において、性別を意識して選ぶ傾向がみられた。 (参照：図表IV-4-14~15)
(13)	保護者の年代によって、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度の差はあるか	無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度について、年代による差はほぼみられなかった。 (参照：図表IV-4-16)
(14)	設問回答の得点化したカテゴリと他の設問との間に関係性はあるか	得点化のカテゴリ別でみると、全体的な傾向として、顕著な差はみられなかった。 (参照：図表IV-4-17~24)
(15)	「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」と他の設問間に関係性はあるか	「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」に《知っている》と回答した保護者ほど、各設問に《そう思う》と回答する割合は低くなった。 (参照：図表IV-4-25~32)
(16)	保護者の年代によって、「家事・育児」に対する意識の差が見られるか	年代による大きな差は見られなかったが、全体で、「家事は女性の方が向いていると思う」について《そう思う》の回答が4割近くであったのに対して、「育児は女性の方が向いていると思う」については《そう思う》の回答が6割を超え、「家事」よりも「育児」について、女性の方が向いていると回答する割合が高くなった。 (参照：図表IV-4-33~34)
(17)	保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、「家事/育児は女性の方が向いていると思う」ことに影響を与えているか	「男性/女性だからと思う」について《そう思う》と回答した保護者ほど、家事/育児は女性の方が向いていると思う傾向がみられた。 (参照：図表IV-4-35~36)

**教員調査結果の仮説・検討事項に関する分析結果**

No.	仮説・検討事項	分析結果
(18)	教員の年代・役職によって、「将来管理職になるのは無理だと思う」の設問に対する回答に違いがあるか	<p>「将来管理職になるのは無理だと思う」に《そう思う》と回答した教員について、男性では、年代により回答割合に大きな差があった。女性では大きな差はないが、年代が上がると《そう思う》と回答した割合が低くなった。</p> <p>また、役職別については、男女ともに、「主幹教諭・指導教諭」以上の役職と「主任教諭」以下の役職で《そう思う》と回答した割合に大きな差があった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-5-1～2)</p>
(19)	教員の年代・役職によって、「プライベートより仕事を優先したほうが良いと思う」の設問に対する回答に違いがあるか	<p>「プライベートより仕事を優先したほうが良いと思う」に《そう思う》と回答した教員について、男女ともに年代が上がると《そう思う》と回答した割合が高くなった。</p> <p>また、役職別については、男女ともに顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-5-3～4)</p>
(20)	教員の年代・役職によって、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答に違いがあるか	<p>「男性/女性だからと思うことがある」に《そう思う》と回答した教員について、男女ともに年代が上がると《そう思う》と回答した割合が高くなった。</p> <p>また、役職別については、男女ともに管理職で他の役職より《そう思う》と回答した割合が高くなった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-5-5～6)</p>

No.	仮説・検討事項	分析結果
(21)	教員の年代・役職によって、育児休業と介護休業の取得に対する意識の差があるか	<p>「育児/介護休業は女性が取ったほうが良いと思う」に「そう思う」と回答した教員について、男女ともに育児休業について、回答割合に大きな差があった。また、役職別については、女性の「主幹教諭・指導教諭」では低い値となったものの、男女ともに役職が上がるにつれ、女性が取ったほうが良いと思う傾向がみられた。</p> <p>一方、介護に関して男女ともに年代による顕著な傾向はみられなかった。また、役職別についても、男女ともに顕著な傾向は見られなかった。</p> <p>育児休業と介護休業の取得に対する意識の差については、介護休業より育児休業に関して「女性が取ったほうが良い」と思う割合が高くなった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-5-7～10)</p>
(22)	教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」ことに影響を与えているか	<p>「男性/女性だからと思うことがある」について「そう思う」と回答した教員のうち、「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について「そう思う」の回答が6割台半ばとなり、統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「男性/女性だからと思う」に「そう思う」と回答した教員ほど、育児休業は「女性が取ったほうが良い」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-5-11)</p>
(23)	教員の役職によって、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答に違いはあるか	<p>「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について「そう思う」と回答した教員について、役職別にみると、男女ともに回答に顕著な傾向は見られなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-5-12)</p>
(24)	教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答に影響しているか	<p>「男性/女性だからと思う」について「そう思う」と回答した教員ほど、性別により「仕事の役割を分けたほうが良い」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-5-13)</p>

No.	仮説・検討事項	分析結果
(25)	「子育て中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」の回答について、男性教員と女性教員により違いが生じる要因に年代・役職による差があるか	<p>「子育て中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」に《そう思う》と回答した教員に関して、男女ともに年代が上がるにつれ、《そう思う》と回答した割合が低くなる傾向がみられた。</p> <p>また、役職別については、《そう思う》と回答した割合について、顕著な傾向は見られなかった。</p> <p>ただし、年代にかかわらず「子育て中の男性教員には負担の多い仕事をまかせないほうがいいと思う」について《そう思う》の回答が7割を超え、また「子育て中の女性教員には負担の多い仕事をまかせないほうがいいと思う」については《そう思う》の回答が8割を超え、男性教員と女性教員とで回答割合に大きな差があった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－5－14～17)</p>
(26)	「介護中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」の回答について、男性教員と女性教員により違いが生じる要因に年代・役職による差があるか	<p>「介護中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」に《そう思う》と回答した教員に関して女性では、年代が上がるにつれ、低くなる傾向が見られた。また、役職別にみると、男女ともに顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－5－18～21)</p>
(27)	教員の年代・役職によって、「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」の回答に違いがあるか	<p>「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」に《あてはまる》と回答した教員について、男女ともに、年代が上がると、《あてはまる》と回答した割合が低くなる傾向がみられた。</p> <p>また、役職別については、男性では、主幹/指導教諭以上の役職と主任教諭以下の役職で回答割合に大きな差が見られた。一方、女性では回答割合に大きな差は見られなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－5－22～23)</p>

No.	仮説・検討事項	分析結果
(28)	教員の年代・役職によって、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答に違いがあるか	<p>「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」に《そう思う》と回答した教員について、男女ともに、年代が上がると、《そう思う》と回答した割合が高くなる傾向がみられた。</p> <p>また、役職別については、男女ともに、顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－５－２４～２５)</p>
(29)	教員の年代・役職によって、児童の教科の得意・不得意について、「性別による違いがあると思う」ことに違いはあるか	<p>教員の年代の違いによって、「児童の教科の得意・不得意に性別による違いがある」に《そう思う》と回答する割合に顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>また、役職別については、役職が上がると、「性別で教科の得意・不得意がある」に《そう思う》と回答した割合が低くなる傾向が見られたが、「理系/文系/家庭科の得意・不得意」については、顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－５－２６～３３)</p>
(30)	教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、児童の教科への得意・不得意に対する意識に影響しているか	<p>「性別で教科の得意、不得意があると思う」、「理系科目は男の子の方が得意だと思う」、「文系科目は女の子の方が得意だと思う」、「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、「男性/女性だからと思うことがある」の設問を回答別にみると、いずれも、「男性/女性だからと思うことがある」に《そう思う》と回答した教員ほど、「児童の教科への得意・不得意に対する事項」に《そう思う》と回答する傾向がみられ、いずれの設問でも統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「男性/女性だからと思う」に《そう思う》と回答した教員ほど、児童の「教科の得意、不得意がある」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－５－３４～３７)</p>
(31)	教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか	<p>「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」、「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」の設問について、「男性/女性だからと思うことがある」の設問との関係では、統計的にも有意な差は見られた。ただし、両設問とも、「学校での児童の役割」に関する事項で《そう思う》と回答した教員の割合は5%未満であった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－５－３８～３９)</p>

No.	仮説・検討事項	分析結果
(32)	教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、仕事への向き・不向きに関する意識に影響しているか	<p>「男性/女性だからと思うことがある」について《そう思う》と回答した教員のうち、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、《そう思う》の回答が5割台半ばとなり、また統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「男性/女性だからと思うことがある」について《そう思う》と回答した教員ほど、児童の仕事について「性別で向き・不向きがある」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-40)</p>
(33)	教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、児童の教科の得意・不得意に関する意識に影響しているか	<p>教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について《そう思う》と回答した教員ほど、児童の「教科に対する得意・不得意」に関する設問について《そう思う》と回答する傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-41～44)</p>
(34)	教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、学校での児童の役割に関することで意識に影響しているか	<p>「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」、「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う」の設問について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の設問との関係では、統計的にも有意な差が見られた。ただし、両設問とも、「学校での児童の役割」に関する事項で《そう思う》と回答した教員の割合は10%未満であった。</p> <p>(参照：図表IV-5-45～46)</p>
(35)	教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、児童の仕事への向き・不向きに関する意識に影響しているか	<p>「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について《そう思う》と回答した教員のうち、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、《そう思う》の回答がほぼ7割になり、また統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について《そう思う》と回答した教員ほど、児童の仕事について「性別で向き・不向きがある」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-47)</p>



第IV章 調査結果の分析< 7まとめ>

No.	仮説・検討事項	分析結果
(36)	<p>教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、児童の教科への得意・不得意に関する意識に影響しているか</p>	<p>「性別で教科の得意、不得意があると思う」、「理系科目は男の子の方が得意だと思う」、「文系科目は女の子の方が得意だと思う」、「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の設問を回答別にみると、いずれも、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」に《そう思う》と回答した教員ほど、「児童の教科への得意・不得意に対する事項」に《そう思う》と回答する傾向がみられ、いずれの設問でも統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」に《そう思う》と回答した教員ほど、児童の「教科の得意、不得意」に関する設問に《そう思う》と回答する傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-48～51)</p>
(37)	<p>教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか</p>	<p>「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」、「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」の設問について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の設問との関係では、統計的に有意な差が見られた。ただし、両設問とも、「学校での児童の役割」に関する事項で《そう思う》と回答した教員の割合は10%未満であった。</p> <p>(参照：図表IV-5-52～53)</p>
(38)	<p>教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」ことに影響を与えているか</p>	<p>「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について《そう思う》と回答した教員ほど、「性別で仕事の役割を分けた方がいい」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-54)</p>
(39)	<p>教員の年代・役職によって、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の意識・行動・認知度等に関する違いがあるか</p>	<p>全体的な傾向として年代・役職が上がるにつれ無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の意識・行動・認知度等について《そう思う/あてはまる/取り上げたことがある》と回答する教員の割合が高くなる傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-55～62)</p>
(40)	<p>設問回答の得点化したカテゴリと他の設問との間に関係性はあるか</p>	<p>全体的な傾向として、得点化したカテゴリと各設問に顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>(参照：図表IV-5-63～75)</p>
(41)	<p>「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」の回答と他の設問の回答に関係性はあるか</p>	<p>「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」について《知っている》と回答した教員ほど、各設問について《そう思う》と回答する割合が低くなる傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-76～88)</p>